

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13090	4	後期	選択	1	30
授業科目名 (英文)	臨床栄養実践演習 (Practical seminar of Clinical Nutrition)				
担当教員名	森本 修三				
授業の概要及び到達目標					
<p>○臨床栄養管理の基本的な事項を学ぶ。患者の病態、栄養状態等を把握し、栄養管理計画を立案し、ベッドサイドにおける適切な栄養サポートを実行する方法を、すでに実施した臨地実習Ⅲ（病院実習）での経験や疑似症例の検討を通して具体的に学ぶ。病院実習で体験した多職種による栄養管理の実際を他の受講学生と共に追体験する（チーム医療）。また、各疾患の診療・治療ガイドラインを理解する。経腸栄養剤や治療用特殊食品の性状や利用方法を知り、試飲食等の体験をする。一部、集団栄養食事指導（模擬教室開催）も実施する。学外の学会・研修会等への参加も可能な限り行う。</p> <p>○病院栄養士業務の実際、とくに臨床栄養管理業務を理解し、臨床栄養士の具体像をイメージできる。ベッドサイドの栄養管理を実施するための基本的知識や技術を理解し、栄養補給において基本的な（初歩的な）患者対応が解説できる。</p>					
準備学習等					
臨床栄養学、応用栄養学、解剖生理学、献立作成演習、調理学実習、給食経営管理論、栄養教育論および臨地実習について学習、復習しておく。					
成績評価の方法	授業態度（質疑応答、出欠状況を含む）50% 献立作成、各発表内容とプレゼンテーション力 40% 学外開催の学会、研修会、勉強会への参加 10%				
テキスト	①栄養管理ビジュアルガイド：小西敏郎他編：学研メディカル秀潤社 ISBN978-4-7809-1295-1 ②プリント、他（すべて配布する）				
参考図書	「静脈経腸栄養ガイドライン第3版」日本静脈経腸栄養学会編：照林社 「静脈経腸栄養テキストブック」日本静脈経腸栄養学会編：南江堂 「エビデンスに基づく病態別栄養管理」井上善文著：メディカ出版 「臨床栄養」：医歯薬出版株式会社 「糖尿病食事療法のための食品交換表」日本糖尿病学会編：文光堂 「腎臓病食品交換表」黒川清監修・中尾俊之、他編：医歯薬出版 「エクセル栄養君」吉村幸雄著作：建帛社 ※各学会編集による治療ガイドライン（食事療法・栄養管理等を含む）				

備 考	学外で開催される学会や研修会等を聴講する場合、学生参加費が無料のものを中心に組み入れるが、原則として参加費や交通費は自己負担。
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、病院栄養士とその業務、栄養サポートチームとは 2. 臨床栄養管理におけるあれこれ（基礎知識等の確認） 3. 栄養管理：スクリーニング・アセスメント、栄養ケア計画・実施・モニタリング・記録・評価 4. 栄養管理：静脈栄養、経腸栄養、経口栄養 5. 栄養管理：SGA と ODA、リフィーディングシンドローム、オーバーフィーディング（含：病院実習体験） 6. 症例対応：TPN での高血糖、EN での下痢（含：病院実習体験） 7. 症例対応：褥瘡、摂食嚥下障害（含：病院実習体験） 8. 症例対応：慢性腎臓病における LPD、糖尿病における食事（含：病院実習体験） 9. 治療食を知る：食品交換表及び食品成分表による糖尿病食（エネルギーコントロール食献立作成） 10. 治療食を知る：食品交換表及び食品成分表による腎不全食（低たんぱく食献立作成） 11. 経腸栄養剤・治療用特殊食品：製品紹介と試飲食 12. 栄養食事指導：個人指導の実際 13. 栄養食事指導：糖尿病教室、腎臓病教室を計画する 14. 栄養食事指導：糖尿病教室、腎臓病教室開催 15. 病院における栄養管理の実際を知る（現役病院栄養士の講演等） <p>※毎回、臨床栄養関連のミニレクチャーを行う</p> <p>※他に学外の学会や研修会等への参加あり</p>	